



2021年2月

日本ソーシャルワーク教育学校連盟
会員校 教職員 各位

日本ソーシャルワーク教育学校連盟
会長 白澤 政和

本連盟編集 教科書「最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座」(全 29 巻)の 完成・刊行について

拝啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本連盟の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。ごぞいます。

本連盟では、今年度事業計画にありますとおり、2021 年度から開始される社会福祉士・精神保健福祉士の新たなカリキュラムに合わせて、両養成課程全科目、全 29 巻の教科書を編集し、2021 年 1 月末において、すべての養成講座(教科書)を中央法規出版株式会社から発行しました。編集・執筆をいただきました会員校の皆様及び関係者の皆様に深く御礼を申し上げます。

この「最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座」シリーズは、社会福祉士と精神保健福祉士の両養成課程の新たなカリキュラムに準拠しています。

今回のカリキュラム見直しのねらいは、地域共生社会の実現に向けて、複合化・複雑化した課題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を把握し解決を試みるよう支援できる人材を養成することにあります。2020 年6月に成立した「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」において社会福祉士、精神保健福祉士の活用が附帯決議されるなど、地域共生社会の実現に向けて「ソーシャルワーク」とソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の必要性が明らかになり、社会からの期待も高まっています。

そのため、本養成講座の制作にあたって、①ソーシャルワーカーとしてアセスメントから支援計画、モニタリングに至るPDCAサイクルに基づく支援ができる人材の養成、②個別支援と地域支援を一体的に対応でき、児童、障害者、高齢者等のさまざまな分野を横断して包括的に支援のできる人材の養成、③「講義一演習一実習」の学習循環をつくることで、実践現場に密着した人材養成をする、を目的にしています。

新カリキュラムは社会福祉士や精神保健福祉士に対する今後のあるべき教育内容を示したものであり、新カリキュラムで学ぶ来年度の1年生だけでなく、上級生でも、ぜひ、この新しい教科書をご検討ください。

社会福祉士・精神保健福祉士を目指す学生が国家試験に合格し、社会で活躍できるソーシャルワーク専門職となっていくことを願い、新カリキュラム開始にあたっては、ぜひソーシャルワークのスタンダードを学べる、本連盟編集の教科書をご採用くださいますようお願いいたします。

敬具

最新 社会福祉士養成講座
精神保健福祉士養成講座

全29巻

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟＝編集
B5判／並製／2色刷 全29巻(共通科目13巻、社会専門科目8巻、精神専門科目8巻)

地域共生社会の実現に向けて、ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の社会的意義はますます高まっています。このたび社会福祉士・精神保健福祉士養成の新たなカリキュラムに対応したテキストシリーズを編集、刊行します。養成校における教育内容を網羅、国家試験対策にも活用でき、今後のあるべきソーシャルワーク像を示す新たなスタンダードテキストです。



巻構成

※価格は税別です。

◆社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座【共通科目】



- | | | | |
|----------------|--------|----------------------------|--------|
| ① 医学概論 | 2,500円 | ⑧ 障害者福祉 | 2,500円 |
| ② 心理学と心理的支援 | 2,500円 | ⑨ 権利擁護を支える法制度 | 2,500円 |
| ③ 社会学と社会システム | 2,500円 | ⑩ 刑事司法と福祉 | 2,500円 |
| ④ 社会福祉の原理と政策 | 2,900円 | ⑪ ソーシャルワークの基盤と専門職(共通・社会専門) | 2,900円 |
| ⑤ 社会福祉調査の基礎 | 2,500円 | ⑫ ソーシャルワークの理論と方法(共通科目) | 2,900円 |
| ⑥ 地域福祉と包括的支援体制 | 2,900円 | ⑬ ソーシャルワーク演習(共通科目) | 2,500円 |
| ⑦ 社会保障 | 2,900円 | | |

◆社会福祉士養成講座【専門科目】



- | | | | |
|----------------|--------|------------------------|--------|
| ① 福祉サービスの組織と経営 | 2,500円 | ⑥ ソーシャルワークの理論と方法(社会専門) | 2,900円 |
| ② 高齢者福祉 | 2,500円 | ⑦ ソーシャルワーク演習(社会専門) | 2,900円 |
| ③ 児童・家庭福祉 | 2,500円 | ⑧ ソーシャルワーク実習指導・ | |
| ④ 貧困に対する支援 | 2,500円 | ソーシャルワーク実習(社会専門) | 2,900円 |
| ⑤ 保健医療と福祉 | 2,500円 | | |

◆精神保健福祉士養成講座【専門科目】



- | | | | |
|------------------|--------|------------------------|--------|
| ① 精神医学と精神医療 | 3,000円 | ⑥ ソーシャルワークの理論と方法(精神専門) | 3,000円 |
| ② 現代の精神保健の課題と支援 | 3,000円 | ⑦ ソーシャルワーク演習(精神専門) | 3,000円 |
| ③ 精神障害リハビリテーション論 | 2,700円 | ⑧ ソーシャルワーク実習指導・ | |
| ④ 精神保健福祉制度論 | 2,700円 | ソーシャルワーク実習(精神専門) | 3,000円 |
| ⑤ 精神保健福祉の原理 | 3,000円 | | |

◆最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座

共通科目

①医学概論

●編集委員：石川鎮清(自治医科大学)
萱場一則(埼玉県立大学)
吉川隆博(東海大学)

●B5判・約280頁 ●定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8231-3

第1章 ライフステージにおける 心身の変化と健康課題

ライフステージにおける心身の特徴/心身の加齢・老化/ライフ
ステージ別の健康課題

第2章 健康および疾病の捉え方

健康と疾病の概念/国際生活機能分類(ICF)

第3章 身体構造と心身機能

人体部位の名称/器官系と臓器の役割

第4章 疾病と障害の成り立ちおよび 回復過程

疾病の発生原因と成立機序

第5章 リハビリテーションの概要と範囲

リハビリテーションの定義/リハビリテーションの目的/リハビリ
テーションの対象/リハビリテーションの方法

第6章 疾病と障害およびその 予防・治療・予後・リハビリテーション

感染症/神経疾患、認知症、高次脳機能障害/脳血管疾患/心疾
患/内分泌・代謝疾患/呼吸器疾患/腎・泌尿器疾患/消化器・肝
胆膵疾患/骨・関節の疾患/血液・免疫・アレルギー疾患/眼科疾
患、視覚障害/耳鼻咽喉疾患、聴覚障害、平衡機能障害/口腔疾患
/婦人科・産科/精神疾患、精神障害、発達障害/小児科疾患、肢
体不自由、知的障害/高齢者に多い疾患/生活習慣病(総論)、内
部障害/悪性腫瘍と緩和ケア

第7章 公衆衛生

公衆衛生の概要/健康増進と保健医療対策

②心理学と心理的支援

●編集委員：勝又陽太郎(東京都立大学)
内藤佳津雄(日本大学)
藤岡孝志(日本社会事業大学)

●B5判・約220頁 ●定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8232-3

第1章 心理学の視点

心理学の歴史と対象/心を探求する方法の発展

第2章 人の心の基本的な仕組みと機能

心の生物学的基盤/感情・動機づけ・欲求/感覚・知覚/学習・行
動/認知/知能・パーソナリティ/社会のなかでの心理

第3章 人の心の発達過程

生涯発達/心の発達の基盤

第4章 日常生活と心の健康

心の不適應/健康生成論

第5章 心理学の理論を基礎とした アセスメントと支援の基本

心理アセスメント/心理的支援の基本的技法/心理療法における
アセスメントと介入技法の概要/心理の専門職

第6章 ソーシャルワークと心理学

子ども・家庭福祉/高齢者福祉/障害児・者福祉/精神保健福祉
/支援者支援福祉/制度利用と心理的ケア

③社会学と社会システム

●編集委員：安立清史(九州大学大学院)
安達正嗣(高崎健康福祉大学)
西川知亨(関西大学)

●B5判・約220頁 ●定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8233-7

第1章 社会学の視点

社会学の意義と対象/社会学の歴史

第2章 社会構造と変動

社会システム/組織と集団/人口/グローバリゼーション/社会
変動/地域/環境

第3章 市民社会と公共性

社会的格差/社会政策と社会問題/差別と偏見/災害と復興

第4章 生活と人生

家族とジェンダー/健康/労働/世代

第5章 自己と他者

自己と他者/社会化/相互行為

終章 社会学と社会福祉学の連携・協働

④社会福祉の原理と政策

●編集委員：坪洋一(東京都立大学)
伊藤新一郎(北星学園大学)
武川正吾(明治学院大学)
●B5判・約300頁 ●定価 本体2,900円(税別)
ISBN978-4-8058-8234-4

序章 社会福祉の原理

第1章 社会福祉の歴史

社会福祉の歴史を学ぶ視点/欧米の社会福祉の歴史的展開/日
本の社会福祉の歴史的展開

第2章 社会福祉の思想・哲学、理論

社会福祉の思想・哲学/社会福祉の理論/社会福祉の論点/社会
福祉の対象とニーズ

第3章 社会問題と社会構造

現代における社会問題/社会問題の構造的背景

第4章 福祉政策の基本的な視点

福祉政策とは何か/福祉政策において重要な概念・理念

第5章 福祉政策におけるニーズと資源

ニーズ(必要)/資源(リソース)

第6章 福祉政策の構成要素と過程

福祉政策の構成要素/福祉政策の過程と評価

第7章 福祉政策の動向と課題

福祉政策と包括的支援の現状/福祉政策と包括的支援の課題

※目次は変更することがあります。

第8章 福祉政策と関連施策

保健医療政策／教育政策／住宅政策／労働政策／災害政策

第9章 福祉サービスの供給と利用過程

福祉供給部門／福祉供給過程／福祉利用過程

第10章 福祉政策の国際比較

国際比較の視点と方法／福祉政策の動向：欧米／福祉政策の動向：東アジア／福祉政策の新しい潮流と国際比較の新しい課題

終章 これからの社会福祉



⑤ 社会福祉調査の基礎

●編集委員：潮谷有二（日本社会事業大学）
志村健一（東洋大学）
竹本与志人（岡山県立大学）

●B5判・約250頁 ●定価 本体2,500円（税別）
ISBN978-4-8058-8235-1

第1章 社会福祉調査の意義と目的

社会福祉調査の意義と目的／福祉サービスと社会福祉調査／社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係／統計法

第2章 社会福祉調査における倫理と個人情報保護

社会福祉調査における倫理と個人情報保護

第3章 社会福祉調査のデザイン

調査における考え方・論理／社会福祉調査のプロセス／社会福祉調査の目的と対象／社会福祉調査でのデータ収集・分析

第4章 量的調査の方法

量的調査の概要／量的調査の種類と方法／質問紙の作成方法と留意点／質問紙の配布（配付）と回収／量的調査の集計と分析

第5章 質的調査の方法

質的調査の概要と方法／質的調査のサンプリング／質的調査のデータ収集（観察法・面接法）／質的調査における記録の方法と留意点／質的調査のデータの分析方法

第6章 ソーシャルワークにおける評価

ソーシャルワークにおける評価の意義／ソーシャルワークにおける評価対象／ソーシャルワークにおける評価方法



⑥ 地域福祉と包括的支援体制

●編集委員：白澤政和（国際医療福祉大学大学院）
所めぐみ（関西大学）
藤井博志（関西学院大学）
松本すみ子（東京国際大学）
渡辺裕一（武蔵野大学）

●B5判・約300頁 ●定価 本体2,900円（税別）
ISBN978-4-8058-8236-8

第1章 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題

地域社会の概念と理論／地域社会の変化／多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ／地域福祉と社会的孤立

第2章 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制

地域包括ケアシステム／生活困窮者自立支援の考え方／包括的支援体制とは／地域共生社会の構築とは／地域共生社会の実現に向けた各種施策

第3章 地域福祉ガバナンスと多機関協働

地域福祉ガバナンス／多機関協働を促進する仕組み／多職種連携／福祉以外の分野との機関協働の実際

第4章 地域福祉の基本的な考え方

地域福祉の概念と理論／地域福祉の歴史／地域福祉の動向／地域福祉の推進主体／地域福祉の主体と形成

第5章 地域を基盤としたソーシャルワークの展開

地域を基盤としたソーシャルワークの方法／住民主体形成に向けたアプローチ／具体的な展開

第6章 災害時における総合的かつ包括的な支援体制

非常時や災害時における法制度／非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援

第7章 福祉計画の意義と種類、策定と運用

福祉計画の定義、目的、機能と歴史的展開／市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容／福祉計画の策定過程と方法／福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術／福祉計画における評価

第8章 福祉行財政システム

国の役割／都道府県の役割／市町村の役割／国と地方の関係／福祉行政の組織及び専門職の役割／福祉における財源



⑦ 社会保障

●編集委員：金子充（明治学院大学）
西村 淳（神奈川県立保健福祉大学）
平岡公一（お茶の水女子大学）
●B5判・約300頁 ●定価 本体2,900円（税別）
ISBN978-4-8058-8237-5

第1章 現代社会と社会保障

人口動態の変化／経済環境の変化／労働環境の変化

第2章 社会保障の概念や対象及びその理念

社会保障の概念／社会保障の役割と意義／社会保障の理念／社会保障の対象／社会保障制度の展開

第3章 社会保障と財政

社会保障の財政／社会保障給付費・内訳・動向／国民負担率／社会保障と経済

第4章 社会保険・社会扶助・民間保険の関係

保険と扶助の考え方／社会保険と社会扶助の考え方／社会保険と民間保険の現状

第5章 社会保障制度の体系

医療保険制度の概要／介護保険制度の概要／年金保険制度の概要／労災保険制度と雇用保険制度の概要／生活保護制度の概要／社会手当制度の概要／社会福祉制度の概要

第6章 諸外国における社会保障制度

諸外国の社会保障／社会保障の国際比較／社会保障の国際化



⑧ 障害者福祉

● 編集委員：高木憲司 (和洋女子大学)
松岡克尚 (関西学院大学)
森田久美子 (立正大学)

● B5判・約220頁 ● 定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8238-2

第1章 障害概念と特性

障害者の定義と特性 / 国際生活機能分類 (ICF) と障害の社会モデル

第2章 障害者福祉の理念

障害観の変遷 / 障害者福祉の理念

第3章 障害者福祉の歴史

障害者処遇の変遷 / 障害者福祉制度と発展過程 / 障害者福祉制度と当事者運動 / 障害者権利条約と障害者基本法

第4章 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題

障害者の生活実態 / 障害者と家族 / 障害者を取り巻く社会環境と課題

第5章 障害者に対する法制度

法制度の全体像 / 身体障害者福祉法 / 知的障害者福祉法 / 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法) / 児童福祉法 / 発達障害者支援法 / 障害者総合支援法・児童福祉法 / 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律 (障害者虐待防止法) / 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害者差別解消法) / 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (バリアフリー法) / 障害者の雇用の促進等に関する法律 (障害者雇用促進法) / 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律 (障害者優先調達推進法)

第6章 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割

障害者と家族等の支援における関係機関の役割 / 関連する専門職等の役割

第7章 障害者と家族等に対する支援の実際

障害領域におけるソーシャルワーカーの役割 / 障害者と家族等に対する支援の実際



⑨ 権利擁護を支える法制度

● 編集委員：齋藤敏靖 (東京国際大学)
高山直樹 (東洋大学)
山本克司 (修文大学)

● B5判・約220頁 ● 定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8239-9

第1章 ソーシャルワークと法の関わり

権利擁護に必要な法制度 / 憲法 / 民法 / 行政法

第2章 法の基礎

法と規範 / 法の体系、種類、機能 / 法律の基礎知識、法の解釈 / 裁判制度・判例を学ぶ意義

第3章 権利擁護の意義と支える仕組み

権利擁護の意義 / 福祉サービスの適切な利用 / 苦情解決の仕組み / 虐待・暴力防止関係法の概要 / 障害者差別解消法の概要

第4章 権利擁護活動と意思決定支援

意思決定支援とは / 意思決定支援ガイドライン / インフォームド・コンセント / その法的概念と判例 / 秘密・プライバシー・個人情報 / 権利擁護活動と社会の安全

第5章 権利擁護に関わる組織、団体、専門職

権利擁護に関わる組織、団体 / 権利擁護に関わる専門職

第6章 成年後見制度

成年後見制度の概要 / 後見の概要 / 保佐の概要 / 補助の概要 / 任意後見の概要 / 成年後見制度の最近の動向 / 成年後見制度利用支援事業 / 日常生活自立支援事業



⑩ 刑事司法と福祉

● 編集委員：伊東秀幸 (田園調布学園大学)
水藤昌彦 (山口県立大学)
森久智江 (立命館大学)
山崎康一郎 (日本福祉大学)

● B5判・約260頁 ● 定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8240-5

第1章 「刑事司法と福祉」総論

「刑事司法と福祉」を学ぶにあたって / 刑事司法と接する人たちのソーシャルワーク

第2章 社会と犯罪

犯罪とは何か / 刑務所からみた日本の犯罪

第3章 犯罪原因論と対策

犯罪原因論の展開 / 犯罪原因論に基づく犯罪への対応

第4章 刑罰とは何か

刑罰制度の歴史 / 刑罰の本質と機能 / 刑罰の種類と適用の状況

第5章 刑事司法

刑事手続の概要 / 刑事手続と重要な原則 / 犯罪の成立要件と責任能力判断

第6章 少年司法

少年法は何のためにあるのか / 少年保護手続の流れ / 少年司法制度上の処分

第7章 施設内処遇① 成人

日本の施設内処遇の歴史と制度 / 矯正処遇の現状と課題 / 地域生活に向けた支援のあり方

第8章 施設内処遇② 少年

少年に対する施設内処遇の特徴：少年院とは何か / 少年に対する施設内処遇の実際：「矯正教育」とは何か / 少年院在院者への社会復帰支援のあり方：「社会復帰支援」とは何か

第9章 社会内処遇①

更生保護の意義と歴史 / 更生保護制度の概要 / 更生保護における社会福祉士等の役割

第10章 社会内処遇②

社会内処遇の実際 / 関係機関のネットワーク構築

第11章 多様なニーズを有する犯罪行為者①

医療観察制度の概要 / 社会復帰調整官の役割 / 地域におけるソーシャルワーカーの役割

第12章 多様なニーズを有する犯罪行為者②

近年の刑事司法と福祉の連携の展開 / 地域生活定着支援センターの役割と機能 / 刑事司法に関与した高齢・障害者の理解 / 地域の社会福祉関係機関による支援の実際

第13章 多様なニーズを有する犯罪行為者③

アディクションとは何か／回復のために必要なものは何か／刑事司法におけるアディクション

第14章 犯罪被害者支援

被害者支援に関する制度の概要／被害者支援にあたっての考え方／被害者支援の実際

第15章 コミュニティと刑事司法

刑事司法への市民参加／Restorative Justice (RJ: 修復的司法)／対話による問題解決／犯罪と私「私」にできることは何か



⑪ ソーシャルワークの基盤と専門職 (共通・社会専門)

●編集委員：伊藤新一郎 (北星学園大学)
空閑浩人 (同志社大学)
田村綾子 (聖学院大学)

●B5判・約320頁 ●定価 本体2,900円 (税別)
ISBN978-4-8058-8241-2

第1章 ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ【共通科目】

ソーシャルワークの専門職である社会福祉士・精神保健福祉士／社会福祉士及び介護福祉士法／精神保健福祉士法／社会福祉士および精神保健福祉士の専門性／社会福祉士・精神保健福祉士に求められるコンピテンシー

第2章 ソーシャルワークの概念【共通科目】

ソーシャルワークの定義／ソーシャルワークの構成要素

第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方【共通科目】

ソーシャルワークの原理／ソーシャルワークの理念

第4章 ソーシャルワークの形成過程【共通科目】

ソーシャルワークの源流と基礎確立期／ソーシャルワークの発展期／ソーシャルワークの展開期と統合化／日本におけるソーシャルワークの形成過程

第5章 ソーシャルワークの倫理【共通科目】

専門職倫理の概念／倫理綱領／倫理的ジレンマ

第6章 ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲【社会専門】

ソーシャルワーク専門職の概念と範囲／社会福祉士の職域と役割／多様な組織・機関・団体における専門職／諸外国の動向

第7章 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク【社会専門】

ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象／ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開

第8章 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容【社会専門】

総合的かつ包括的な問題解決におけるジェネラリストの視点／ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容／多職種連携及びチームアプローチの意義と内容



⑫ ソーシャルワークの理論と方法 (共通科目)

●編集委員：岡田まり (立命館大学)
中谷陽明 (桜美林大学)
中村和彦 (北星学園大学)
渡辺裕一 (武蔵野大学)
●B5判・約350頁 ●定価 本体2,900円 (税別)
ISBN978-4-8058-8242-9

第1章 人と環境の相互作用に関する理論

ソーシャルワーカーが学ぶ理論／システム理論／生態学理論／バイオ・サイコ・ソーシャルモデル／ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク

第2章 ソーシャルワークの過程—ケースの発見とエンゲージメント

ケースの発見／エンゲージメント

第3章 ソーシャルワークの過程—アセスメント

アセスメントの意義と目的／アセスメントの方法／アセスメントの留意点

第4章 ソーシャルワークの過程—プランニング

プランニングの目的と意義／プランニングのプロセスと方法／プランニングにおける留意点

第5章 ソーシャルワークの過程—支援の実施とモニタリング

支援の実施／モニタリング／効果測定

第6章 ソーシャルワークの過程—支援の終結と結果評価、アフターケア

支援の終結／支援の結果評価／アフターケア

第7章 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ

ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方／ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチ

第8章 ソーシャルワークの面接

面接の意義と目的／面接の方法と実際

第9章 ソーシャルワークの記録

記録の意義と目的／記録の内容／記録のフォーマット

第10章 ケア(ケース)マネジメント

ケア(ケース)マネジメントの原則／ケア(ケース)マネジメントの意義と方法

第11章 グループを活用した支援

グループワークの意義と目的／グループワークの展開過程／セルフヘルプグループ

第12章 コミュニティワーク

コミュニティワークの意義と目的／コミュニティワークの展開／コミュニティワークの理論的系譜とモデル

第13章 ソーシャルアドミニストレーション

ソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義／組織介入・組織改善の実践モデル／組織運営における財源の確保／組織運営管理の実際

第14章 ソーシャルアクション

ソーシャルアクションの概念とその意義／コミュニティ・オーガナイズング

第15章 スーパービジョンとコンサルテーション

スーパービジョンの意義、目的、方法／コンサルテーションの意義、目的、方法

◆ 最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座 **共通科目**

**⑬ ソーシャルワーク演習
(共通科目)**

● 編集委員：岡田まり (立命館大学)
添田正揮 (日本福祉大学)
森田久美子 (立正大学)
渡辺裕一 (武蔵野大学)
● B5判・約220頁 ● 定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8243-6

第1章 ソーシャルワーク演習の意義と目的

ソーシャルワーク演習とは／ソーシャルワーク演習を通して学ぶこと

第2章 人と環境の交互作用

人と環境の交互作用／自己理解と他者理解

**第3章 ソーシャルワークの
対象、役割と機能**

ソーシャルワークの対象／ソーシャルワークの理念および価値、倫理／ソーシャルワークの機能と役割

第4章 コミュニケーション技術と面接技術

コミュニケーション技術／面接技術

**第5章 ソーシャルワークの
展開過程と関連技法**

ケースの発見とエンゲージメント(インテーク)／アセスメント／プランニング／支援の実施とモニタリング／支援の終結と結果評価、アフターケア

第6章 ソーシャルワーク実習後の演習

事例研究、事例検討／スーパービジョン

◆ 最新 社会福祉士
養成講座 **専門科目**

① 福祉サービスの組織と経営

● 編集委員：石川久展 (関西学院大学)
武居敏 (松渓会)
松原由美 (早稲田大学)
● B5判・約220頁 ● 定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8244-1

**第1章 福祉サービスに係る組織や団体の
概要と役割**

福祉サービスを提供する組織／福祉サービスの沿革と概況／組織間連携と促進

**第2章 福祉サービスの組織と運営に係る
基礎理論**

組織運営に関する基礎理論／集団の力学に関する基礎理論／リーダーシップに関する基礎理論

第3章 福祉サービス提供組織の経営と実際

経営体制／福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス／適切な福祉サービスの管理／情報管理／会計管理と財務管理

第4章 福祉人材のマネジメント

福祉人材マネジメント／福祉人材の育成／働きやすい労働環境の整備

② 高齢者福祉

● 編集委員：須加美明 (目白大学)
中谷陽明 (桜美林大学)
結城康博 (淑徳大学)
和気純子 (東京都立大学)
● B5判・約220頁 ● 定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8245-0

第1章 高齢者と少子高齢社会

高齢者の定義と特性／少子高齢社会の到来

**第2章 高齢者の生活実態と
これを取り巻く社会環境**

高齢者の生活実態／高齢者を取り巻く社会環境

第3章 高齢者福祉の歴史と理念

高齢者観の変遷／高齢者福祉の発展過程／高齢者福祉の理念

第4章 介護保険制度

介護保険制度の概要／地域支援事業／介護保険サービスの体系

第5章 高齢者に対する関連諸制度

高齢者保健福祉の法体系／老人福祉法／高齢者医療確保法／高齢者虐待防止法／バリアフリー法／高齢者住まい法／高齢者雇用安定法／育児・介護休業法／市町村独自の高齢者支援

**第6章 高齢者と家族等の支援における
関係機関と専門職の役割**

関係機関の役割／関連する専門職等の役割

第7章 高齢者と家族等に対する支援の実際

高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割／高齢者と家族等に対する支援の実際

③ 児童・家庭福祉

● 編集委員：岩永靖 (九州ルーテル学院大学)
澁谷昌史 (関東学院大学)
宮島清 (日本社会事業大学)
● B5判・約220頁 ● 定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8246-7

第1章 子ども家庭福祉とは何か

子どもの権利／子どもの生命と発達／子どもと家庭・地域／子ども家庭福祉とは

第2章 子ども家庭福祉の歴史

権利保障としての福祉／子どもの権利の変遷／近年にみる子ども家庭福祉の流れ

第3章 子ども家庭を取り巻く現代社会

子ども家庭福祉を取り巻く生活や社会環境／子ども家庭福祉と現代社会

第4章 子ども家庭福祉の支援の基盤

子ども家庭福祉の法体系／子ども家庭福祉の実施体制／子ども家庭福祉にかかわる関係機関・施設と利用方式／子ども家庭福祉の財源と費用負担／子ども家庭福祉の人材と専門職／子ども家庭福祉の計画的推進

第5章 子どもの福祉課題と支援

子ども・子育て支援／保育／要保護児童等と在宅支援／母子保健／児童虐待にかかわる支援／社会的養護／ひとり親家庭への支援／ドメスティック・バイオレンスと女性支援／スクールソーシャルワーク／少年非行／若者支援／障害のある子どもへの支援／ソーシャルアクション

※目次は変更することがあります。

第6章 子ども家庭福祉の ソーシャルワーク実践

子ども家庭福祉の支援の端緒と調査／子ども家庭福祉におけるアセスメント／子ども家庭福祉における支援の展開過程と連携／子ども・子育て支援にかかわる実践／保育にかかわる実践／母子保健や医療との協働による実践／児童虐待にかかわる支援その1／児童虐待にかかわる支援その2／社会的養護にかかわる実践／ひとり親家庭への支援にかかわる実践／女性福祉にかかわる実践／教育との協働にかかわる実践／若者の自立支援にかかわる実践／障害のある子どもへの支援／当事者参加とアドボカシーにかかわる実践



④ 貧困に対する支援

●編集委員：岡部 卓 (明治大学)
新保美香 (明治学院大学)
行實志都子 (神奈川県立保健福祉大学)
六波羅詩朗 (目白大学)

●B5判・約220頁 ●定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8247-4

第1章 公的扶助の概念

公的扶助の概念と範囲／公的扶助の意義と役割

第2章 貧困の概念と貧困状態にある人の 生活実態とこれを取り巻く社会環境

貧困の概念／貧困状態にある人の生活実態／貧困状態にある人を取り巻く社会環境

第3章 貧困の歴史

貧困状態にある人に対する福祉の理念／貧困観の変遷／貧困に対する制度の発展過程

第4章 生活保護制度

生活保護制度／保護の動向

第5章 低所得者に対する法制度

生活困窮者自立支援制度／生活福祉資金貸付制度／低所得者対策／ホームレス対策

第6章 貧困に対する支援における 関係機関と専門職の役割

貧困に対する支援における公私の役割関係／国、都道府県、市町村の役割／福祉事務所の役割／自立相談支援機関の役割／その他の貧困に対する支援における関係機関の役割／関連する専門職等の役割

第7章 貧困に対する支援の実際

社会福祉士の役割／支援に必要とされる視点と基本姿勢／貧困に対する支援の実際(多職種連携を含む)



⑤ 保健医療と福祉

●編集委員：梅崎 薫 (埼玉県立大学)
高山恵理子 (上智大学)
保正友子 (日本福祉大学)

●B5判・約250頁 ●定価 本体2,500円(税別)
ISBN978-4-8058-8248-1

第1章 保健医療の課題を持つ人の理解

病者の理解／家族の理解／患者の権利

第2章 医療倫理

医療倫理と倫理的課題／患者の意思決定をめぐる課題

第3章 保健医療の動向

疾病構造の変化／入院医療から在宅医療/病院完結型医療から地域完結型医療へ／保健医療における福祉的課題

第4章 保健医療領域に必要な政策・制度 およびサービスに関する知識

保健医療の政策・制度／保健医療サービスの提供体制／医療費の保障／その他の政策・制度

第5章 保健医療領域における 専門職の役割と連携

保健医療領域における専門職と院内連携／地域の関係機関と連携の実際／医療機関におけるソーシャルワーカーが所属する部門の構築

第6章 保健医療領域における支援の実際

保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割／保健医療領域における支援の実際



⑥ ソーシャルワークの 理論と方法(社会専門)

●編集委員：添田正揮 (日本福祉大学)
所めぐみ (関西大学)
福富昌城 (花園大学)

●B5判・約300頁 ●定価 本体2,900円(税別)
ISBN978-4-8058-8249-8

第1章 総合的かつ包括的な支援における ソーシャルワークの実際

総合的かつ包括的な支援の考え方／家族支援の実際／地域支援の実際／非常時や災害時支援の実際

第2章 ソーシャルワークにおける 援助関係の形成

援助関係形成の意義と概念／援助関係の形成方法と留意点

第3章 ネットワークの形成

ネットワークング／コーディネーション

第4章 ソーシャルワークにおける 社会資源の活用・調整・開発

社会資源の活用・調整／ソーシャルワーク実践と社会資源／社会資源開発のさまざまな方法

第5章 カンファレンス

会議の種類と方法／マイクロ、メゾ、マクロの会議

第6章 事例分析

事例分析の方法／事例検討、事例研究の方法

第7章 ソーシャルワークに関連する技法

ネゴシエーション／コンフリクト・レゾリューション／ファシリテーション／プレゼンテーション／ソーシャル・マーケティング



◆ 最新 社会福祉士養成講座 専門科目

⑦ ソーシャルワーク演習
(社会専門)

● 編集委員：鵜浦直子 (大阪市立大学)
野村裕美 (同志社大学)
所めぐみ (関西大学)
渡辺晴子 (広島国際大学)

● B5判・約290頁 ● 定価 本体2,900円(税別)
ISBN978-4-8058-8250-4

第1章 ソーシャルワーク演習の意義と目的

社会福祉士養成における演習の意義と目的/演習の目標~ソーシャルワーカーのコンピテンシーと多職種連携コンピテンシーを習得する/演習の内容

第2章 ソーシャルワークの展開過程と
ソーシャルワーカーの営み

演習のねらいと事例の基本情報/ケースの発見とエンゲージメント/アセスメント/プランニング/支援の実施とモニタリング/支援の終結と結果評価 アフターケア/ソーシャルワークの展開とコンピテンシー

第3章 実践的にソーシャルワークを学ぶ

地域における社会的孤立への気づきと生み出す支援のあり方を考える/服役を繰り返す福祉ニーズのあるクライアントへの多機関・多職種による支援を考える/メンタルヘルス課題と社会福祉士の役割・機能を考える/ほか

⑧ ソーシャルワーク実習指導・
ソーシャルワーク実習(社会専門)

● 編集委員：伊藤新一郎 (北星学園大学)
添田正揮 (日本福祉大学)
渡辺裕一 (武蔵野大学)

● B5判・約360頁 ● 定価 本体2,900円(税別)
ISBN978-4-8058-8251-1

序章 講義一演習一実習の連動

第1章 ソーシャルワーク実習の目的と構造

実習および実習指導の意義と目的/実習におけるスーパービジョン/実習における教育評価/実習の構造/実習におけるリスクマネジメント

第2章 実習先決定に向けた準備

情報収集の方法/実習記録の書き方/ソーシャルワーク実習の分野と施設・機関の理解

第3章 実習先決定後の準備

実習先決定後の学習の内容と方法/実習計画の作成/事前訪問/事前打ち合わせ

第4章 実習中の学習

実習スーパービジョン/実習計画書の作成と中間評価の活用/実習中に直面する悩み/実習中に起こり得る問題

第5章 実習後の学習

実習後に行う評価/事後学習の目的と方法/実習成果の報告

第6章 実習の実際

利用者やその関係者(家族・親族、友人等)への権利擁護活動とその評価/利用者やその関係者(家族・親族、友人等)、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成/利用者やその関係者(家族・親族、友人等)との援助関係の形成/利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題(ニーズ)の把握、支援計画の作成と実践及び評価/ほか

◆ 最新 精神保健福祉士
養成講座 専門科目

① 精神医学と精神医療

● 編集委員：伊東秀幸 (田園調布学園大学)
竹島正 (川崎市精神保健福祉センター)
藤井千代 (国立精神・神経医療研究センター)
三澤孝夫 (駒澤大学)

● B5判・約300頁 ● 定価 本体3,000円(税別)
ISBN978-4-8058-8252-8

第1章 精神疾患総論

精神医学・医療の歴史/精神現象の生物学的基礎/精神障害の概念/精神疾患の診断分類/診断、検査

第2章 代表的な疾患とその症状、経過、予後

器質性精神障害/精神作用物質使用による精神および行動の障害/統合失調症/気分(感情)障害/神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害/生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群/パーソナリティ障害と行動の障害/精神遅滞(知的障害)/心理的発達障害/小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害

第3章 精神疾患の治療

精神疾患治療総論/精神科薬物治療/精神療法/脳刺激法などの身体療法/精神科リハビリテーション

第4章 精神科医療機関における治療の実際

外来治療、在宅医療/入院治療/医療観察法における入院・通院治療/精神科医療機関における精神保健福祉士の役割/精神保健福祉士と協働する職種

第5章 精神医療と保健、福祉の連携

治療導入に向けた支援/再発予防や地域生活に向けた支援

第6章 精神医療の動向

精神疾患患者の動向/医療制度改革と精神医療/医療機関の医療機能の明確化

② 現代の精神保健の課題と支援

● 編集委員：植田俊幸 (鳥取県立厚生病院)
四方田清 (順天堂大学)
松本すみ子 (東京国際大学)

● B5判・約300頁 ● 定価 本体3,000円(税別)
ISBN978-4-8058-8253-5

第1章 精神保健の概要

精神保健とは/ライフサイクルと精神保健/生活習慣と精神の健康

第2章 現代の精神保健分野の動向と
基本的考え方

精神保健の動向/精神保健活動の三つの対象/精神の健康に関する心的態度/生活と嗜癖

第3章 家族に関連する
精神保健の課題と支援

家族関係における暴力と精神保健/出産・育児をめぐる精神保健/介護をめぐる精神保健/社会的ひきこもりをめぐる精神保健/家族関係の課題/グリーフケア/精神保健支援を担う機関

第4章 精神保健の視点から見た
学校教育の課題とアプローチ

学校教育における精神保健的課題/教員の精神保健/関与する専門職と関係法規/スクールソーシャルワーカーの役割/学校精神保健にかかわる社会資源

※目次は変更することがあります。

第5章 精神保健の視点から見た 勤労者の課題とアプローチ

現代日本の労働環境／産業精神保健とその対策／職場のメンタルヘルスのための相談／職場内の問題を解決するための機関および関係法規

第6章 精神保健の視点から見た 現代社会の課題とアプローチ

災害被災者の精神保健／犯罪被害者等の支援／自殺予防／身体疾患に伴う精神保健／貧困問題と精神保健／社会的孤立／性的マイノリティと精神保健／多文化に接することで生じる精神保健上の問題／反復違法行為と精神保健／高齢化と精神保健

第7章 精神保健に関する発生予防と対策

精神保健における予防の考え方／アルコール関連問題に対する対策／薬物依存対策／ギャンブル等依存対策／子育て支援と暴力、虐待予防／認知症高齢者に対する対策／ほか

第8章 地域精神保健に関する 偏見・差別等の課題

関係法規／精神保健にかかわる人材育成／精神保健における偏見・差別

第9章 精神保健に関する専門職種と 国、都道府県、市町村、団体等の役割 および連携

国の機関とその役割／精神保健に関する法規／多職種の役割と連携／地域精神保健にかかわる行政機関の役割および連携／学会や啓発団体／セルフヘルプグループと地域精神保健を課題とした市民団体

第10章 諸外国の精神保健活動の 現状および対策

世界の精神保健の実情／WHOなどの国際機関の活動／諸外国の精神保健医療の実情



③精神障害 リハビリテーション論

●編集委員：岩崎 香(早稲田大学)
阪田憲二郎(神戸学院大学)
長崎和則(川崎医療福祉大学)

●B5判・約220頁 ●定価 本体2,700円(税別)
ISBN978-4-8058-8254-2

第1章 精神障害リハビリテーションと ソーシャルワーク

精神障害リハビリテーションとソーシャルワークの関係／精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割

第2章 精神障害リハビリテーションの 理念、定義、基本原則

精神障害リハビリテーションの理念と定義／医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーション／精神障害リハビリテーションの基本原則／地域およびリカバリー概念を基盤としたリハビリテーションの意義

第3章 精神障害リハビリテーションの 構成および展開

精神障害リハビリテーションの対象／チームアプローチ／精神障害リハビリテーションのプロセス

第4章 精神障害リハビリテーションプログラム の内容と実施機関

医学的リハビリテーションプログラム／職業的リハビリテーションプログラム／社会的リハビリテーションプログラム／教育的リハビリテーションプログラム／家族支援プログラム／リハビリテーションに用いられるその他の手法・プログラム

第5章 精神障害リハビリテーションの 動向と実際

精神障害当事者や家族を主体としたリハビリテーション／依存症のリハビリテーション



④精神保健福祉制度論

●編集委員：青木聖久(日本福祉大学)
大岡由佳(武庫川女子大学)
大塚淳子(帝京平成大学)

●B5判・約220頁 ●定価 本体2,700円(税別)
ISBN978-4-8058-8255-9

第1章 精神障害者に関する制度・施策の理解

精神障害者に関する制度・施策の体系／精神障害者に関する制度の成立過程とその特徴／精神障害者に関する制度活用の流れ―事例から

第2章 精神障害者の医療に関する制度

精神保健福祉法の概要と精神保健福祉士の役割／精神科医療がかかわりをもつ施策／医療観察法の概要と精神保健福祉士の役割／精神障害者の医療と関連する施策

第3章 精神障害者の生活支援に関する制度

生活支援の基本的な考え方／相談支援制度／居住支援制度／就労支援制度

第4章 精神障害者の経済的支援

精神障害者の暮らしに果たす経済的支援の意義と役割／所得保障にかかわる経済的支援／経済的負担の軽減

第5章 精神障害者と生活困窮

生活困窮と生活保護制度／生活困窮者自立支援制度／低所得者対策



⑤精神保健福祉の原理

●編集委員：岩崎晋也(法政大学)
金子努(県立広島大学)
田村綾子(聖学院大学)
中村和彦(北星学園大学)

●B5判・約330頁 ●定価 本体3,000円(税別)
ISBN978-4-8058-8256-6

序章 「精神保健福祉の原理」とは何か

第1章 障害者福祉の理念と歴史的展開

障害の捉え方と障害者福祉の理念／精神障害者福祉の歴史的展開

第2章 精神障害と精神障害者の概念

制度における「精神障害者」の定義／国際生活機能分類(ICF)と精神障害／精神障害の「障害特性」／精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流

第3章 精神障害者の 排除と障壁をめぐる歴史と構造

諸外国における排除の歴史とその後の展開／日本における排除の歴史と構造／日本の社会的障壁をめぐる課題とその支援への取り組み

第4章 精神障害者の生活特性

精神科医療による生活への影響／精神障害者の家族がおかれている状況／精神障害者の社会生活の実際／メンタルヘルスをめぐる新たな課題

第5章 精神保健福祉の原理と理念

精神保健福祉の原理が培われた足跡・過程／精神保健福祉士による実践の価値・原理／精神保健福祉士による実践の視野や視点／援助における関係性

第6章 「精神保健福祉士」の役割と機能

精神保健福祉士法の理解／精神保健福祉士の職業倫理／精神保健福祉士の業務特性と業務指針／精神保健福祉士の職場・職域／精神保健福祉士の業務内容とその特性

⑥ ソーシャルワークの理論と方法 (精神専門)

- 編集委員：岩崎 香 (早稲田大学)
鈴木孝典 (高知県立大学)
松本すみ子 (東京国際大学)
- B5判・約300頁 ● 定価 本体3,000円 (税別)
ISBN978-4-8058-8257-3

第1章 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要

ソーシャルワークの構成要素／ソーシャルワークの展開過程／精神保健福祉分野のソーシャルワークの基本視点／マイクロ・メソ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開

第2章 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法

援助関係の形成技法／インテーク／アセスメント／面接技術とその応用／グループワーク (集団援助技術)／アウトリーチ／支援の展開 (人・環境へのアプローチ) 事例分析／支援の展開 (ケアマネジメント)

第3章 精神保健福祉分野における家族支援の実際

精神障害者家族の課題／家族理解の変遷／家族支援の方法

第4章 コミュニティワーク

精神保健福祉分野におけるコミュニティワークの意義／地域における精神保健福祉の向上

第5章 ソーシャルアクションへの展開

ソーシャルアクションの基本的視点／個別支援から地域における体制整備／政策提言・政策展開／精神障害者の地域移行・地域定着に関わる展開 (事例分析)

第6章 多職種連携・多機関連携 (チームアプローチ)

連携の意義と目的／多職種連携・多機関連携の留意点／チームビルディング／チームの形態と特徴／連携における精神保健福祉士の役割／多職種連携・多機関連携 (チームアプローチ) の実際 (事例分析)

第7章 ソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義

精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義／精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーションの展開方法／人材確保と人材育成

第8章 関連分野における精神保健福祉士の実践展開

学校・教育分野／産業分野／司法分野／災害分野

⑦ ソーシャルワーク演習 (精神専門)

- 編集委員：岩崎 香 (早稲田大学)
栄 セツコ (桃山学院大学)
田村綾子 (聖学院大学)
- B5判・約300頁 ● 定価 本体3,000円 (税別)
ISBN978-4-8058-8258-0

第1章 精神保健福祉士の演習の意義と目的

精神保健福祉士になるための演習の意義と目的／精神保健福祉士の演習の内容／精神保健福祉士の実践における原理・原則

第2章 ソーシャルワークの課題を通じた演習

個人に対する相談援助の理解 (病院から退院)／グループ (ケア、地域の障害福祉サービス)／地域福祉の基盤整備にかかわる相談援助の理解

第3章 支援の場に応じた相談援助の理解

【医療機関】／【障害福祉サービス事業所】／【行政機関・社会福祉協議会】／【高齢者】／【教育機関】／【司法】／【産業】

第4章 ソーシャルワーク実践のための力の獲得

CSWEのコンピテンシー／公益財団法人日本精神保健福祉士協会のキャリアラダー

⑧ ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習 (精神専門)

- 編集委員：中村和彦 (北星学園大学)
中村卓治 (広島文教大学)
松本すみ子 (東京国際大学)
- B5判・約300頁 ● 定価 本体3,000円 (税別)
ISBN978-4-8058-8259-7

序章 講義一演習一実習の運動

第1章 ソーシャルワーク実習の目的と構造

実習および実習指導の意義と目的／実習におけるスーパービジョン／実習における教育評価／実習の構造／実習におけるリスクマネジメント

第2章 実習先決定に向けた準備

情報収集の方法／実習記録の書き方／精神保健医療福祉の現状／精神保健福祉士の役割／精神保健福祉士実習の施設・機関の理解

第3章 実習先決定後の準備

実習先決定後の学習の内容と方法／実習計画の作成／事前訪問事前打ち合わせ

第4章 実習中の学習

実習スーパービジョン／実習計画書の作成と中間評価の活用／習中に直面する悩み／実習中に起こり得る問題

第5章 実習後の学習

実習後に行う評価／事後学習の目的と方法／実習成果の報告

第6章 実習の実際

実習先で必要とされる精神保健福祉士としてのソーシャルワークに係る専門的知識と技術／精神保健福祉士に求められる職業倫と法的責務／精神科医療機関における実習／障害福祉サービス業における実習／行政機関における実習

社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 新旧対照表

新カリキュラムでの授業は2021年度の新入生からスタートしますが、現行カリキュラムの対象となる学生（2021年度の2～4年生）においても、多くの科目で最新版を使用して授業を行うことが可能です。最新版のご活用のご検討をお願いいたします。

- ※2020年10月現在
- A：現行科目の内容が最新版に含まれており、**最新版で学習可能**
 B：現行科目が再編されているが、卒業後の実務面や内容の重要度から、**最新版での学習を推奨**（補足資料等が必要な場合あり）
 C：新カリキュラムにおける科目再編のため、最新版で対応することが難しい科目（**現行版を推奨**）

	現行版	時間数	最新版	時間数	代替可否	
共通科目	① 人体の構造と機能及び疾病	30	① 医学概論	30	A	
	② 心理学理論と心理的支援	30	② 心理学と心理的支援	30	A	
	③ 社会学理論と社会システム	30	③ 社会学と社会システム	30	A	
	④ 現代社会と福祉	60	④ 社会福祉の原理と政策	60	A	
	⑨ 地域福祉の理論と方法	60	⑥ 地域福祉と包括的支援体制	60	A	
	⑩ 福祉行財政と福祉計画	30	⑥ 地域福祉と包括的支援体制	60	A	
	⑫ 社会保障	60	⑦ 社会保障	60	A	
	⑭ 障害者に対する支援と障害者自立支援制度	30	⑧ 障害者福祉	30	A	
	⑯ 低所得者に対する支援と生活保護制度	30	社④ 貧困に対する支援	30	A	
	⑰ 保健医療サービス	30	社⑤ 保健医療と福祉	30	A	
	⑱ 権利擁護と成年後見制度	30	⑨ 権利擁護を支える法制度	30	A	
				⑤ 社会福祉調査の基礎	30	専門科目から 共通科目に変更
				⑩ 刑事司法と福祉	30	
			⑪ ソーシャルワークの基盤と専門職（共通・社会専門）	30+30		
			⑫ ソーシャルワークの理論と方法（共通科目）	60		
			⑬ ソーシャルワーク演習（共通科目）	30		
社会専門科目	⑤ 社会調査の基礎	30	共⑤ 社会福祉調査の基礎	30	A	
	⑥ 相談援助の基盤と専門職	60	共⑪ ソーシャルワークの基盤と専門職（共通・社会専門）	30+30	A	
	⑦ 相談援助の理論と方法Ⅰ	120	共⑫ ソーシャルワークの理論と方法（共通科目）	60	A	
	⑧ 相談援助の理論と方法Ⅱ		⑥ ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）	60		
	⑪ 福祉サービスの組織と経営	30	① 福祉サービスの組織と経営	30	A	
	⑬ 高齢者に対する支援と介護保険制度	60	② 高齢者福祉	30	B	
	⑮ 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	30	③ 児童・家庭福祉	30	A	
	⑰ 就労支援サービス	15	— 該当巻なし	—	C	
	⑳ 更生保護制度	15	共⑩ 刑事司法と福祉	30	A	
	— 社会福祉士 相談援助演習	150	共⑬ ソーシャルワーク演習（共通科目）	30	A	
— 社会福祉士 相談援助実習	270	⑦ ソーシャルワーク演習（社会専門）	120			
			⑧ ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（社会専門）	330	A	
精神専門科目	① 精神疾患とその治療	60	① 精神医学と精神医療	60	A	
	② 精神保健の課題と支援	60	② 現代の精神保健の課題と支援	60	A	
	③ 精神保健福祉相談援助の基盤（基礎・専門）	60	共⑪ ソーシャルワークの基盤と専門職（共通・社会専門）	—	B	
			⑤ 精神保健福祉の原理	—		
	④ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	120	⑥ ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）	—	B	
			③ 精神障害リハビリテーション論	—		
			⑤ 精神保健福祉の原理	—		
	⑤ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	—	該当巻なし	—	C	
	⑥ 精神保健福祉に関する制度とサービス	60	— 該当巻なし	—	C	
	⑦ 精神障害者の生活支援システム	30	— 該当巻なし	—	C	
	⑧ 精神保健福祉援助演習（基礎・専門）	90	共⑬ ソーシャルワーク演習（共通科目）	30	A	
		⑦ ソーシャルワーク演習（精神専門）	90			
⑨ 精神保健福祉援助実習指導・実習	300	⑧ ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（精神専門）	300	A		
		③ 精神障害リハビリテーション論	30	新規科目		
		④ 精神保健福祉制度論	30	新規科目		
		⑤ 精神保健福祉の原理	60	新規科目		
		⑥ ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）	60	新規科目		

 中央法規
 Chuohoki Publishing Co., Ltd.
<https://www.chuohoki.co.jp/>

札幌営業所	〒060-0052	札幌市中央区南2条東2-8-1	TEL:011-219-6121	FAX:011-252-0828
仙台営業所	〒980-0014	仙台市青葉区本町1-9-2	TEL:022-222-1693	FAX:022-216-5087
東京営業所	〒110-0016	東京都台東区台東3-29-1	TEL:03-3834-5817	FAX:03-3837-8037
岐阜営業所	〒502-0905	岐阜市山吹町1-4	TEL:058-231-8752	FAX:058-231-8756
大阪営業所	〒530-0041	大阪市北区天神橋4-8-12	TEL:06-6351-9079	FAX:06-6355-3447
広島営業所	〒732-0804	広島市南区西蟹屋2-9-12	TEL:082-568-5870	FAX:082-568-5871
福岡営業所	〒810-0073	福岡市中央区舞鶴3-2-1	TEL:092-724-8714	FAX:092-726-2060

参考：最終版の各巻目次一覧

◆社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目

①医学概論

256 頁 定価 本体 2,500 円 (税別)

ISBN978-4-8058-8231-3

編集委員 = 石川鎮清 (自治医科大学)、萱場一則 (埼玉県立大学)、吉川隆博 (東海大学)

第 1 章 ライフステージにおける心身の変化と健康課題

第 1 節 ライフステージにおける心身の特徴

第 2 節 心身の加齢・老化

第 3 節 ライフステージ別の健康課題

第 2 章 健康および疾病の捉え方

第 1 節 健康と疾病の概念

第 2 節 国際生活機能分類 (ICF)

第 3 章 身体構造と心身機能

第 1 節 人体部位の名称

第 2 節 器官系と臓器の役割

第 4 章 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程

第 1 節 疾病の発生原因と成立機序

第 5 章 リハビリテーションの概要と範囲

第 1 節 リハビリテーションの定義

第 2 節 リハビリテーションの目的

第 3 節 リハビリテーションの対象

第 4 節 リハビリテーションの方法

第 6 章 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション

第 1 節 感染症

第 2 節 神経疾患、認知症、高次脳機能障害

第 3 節 脳血管疾患

第 4 節 心疾患

第 5 節 内分泌・代謝疾患

第 6 節 呼吸器疾患

第 7 節 腎・泌尿器疾患

第 8 節 消化器・肝胆膵疾患

第 9 節 骨・関節の疾患

第 10 節 血液・免疫・アレルギー疾患

第 11 節 眼科疾患、視覚障害

- 第12節 耳鼻咽喉疾患、聴覚障害、平衡機能障害
- 第13節 口腔疾患
- 第14節 婦人科・産科
- 第15節 精神疾患、精神障害、発達障害
- 第16節 小児科疾患、肢体不自由、知的障害
- 第17節 高齢者に多い疾患
- 第18節 生活習慣病（総論）、内部障害
- 第19節 悪性腫瘍と緩和ケア

第7章 公衆衛生

- 第1節 公衆衛生の概要
- 第2節 健康増進と保健医療対策

②心理学と心理的支援

248頁 定価 本体 2,500円（税別）

ISBN978-4-8058-8232-0

編集委員＝勝又陽太郎（東京都立大学）、内藤佳津雄（日本大学）、藤岡孝志（日本社会事業大学）

第1章 心理学の視点

- 第1節 心理学の歴史と対象
- 第2節 心を探求する方法の発展

第2章 人の心の基本的な仕組みと機能

- 第1節 心の生物学的基盤
- 第2節 感情・動機づけ・欲求
- 第3節 感覚・知覚
- 第4節 学習・行動
- 第5節 認知
- 第6節 知能・パーソナリティ
- 第7節 社会のなかでの心理

第3章 人の心の発達過程

- 第1節 生涯発達
- 第2節 心の発達の基盤

第4章 日常生活と心の健康

- 第1節 心の不適応
- 第2節 健康生成論

- 第5章 心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本
 - 第1節 心理アセスメント
 - 第2節 心理的支援の基本的技法
 - 第3節 心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要
 - 第4節 心理の専門職
- 第6章 ソーシャルワークと心理学
 - 第1節 子ども・家庭福祉
 - 第2節 高齢者福祉
 - 第3節 障害児・者福祉
 - 第4節 精神保健福祉
 - 第5節 支援者支援福祉
 - 第6節 制度利用と心理的ケア

③社会学と社会システム

256頁 定価 本体 2,500円 (税別)

ISBN978-4-8058-8233-7

編集委員＝安立清史 (九州大学大学院)、安達正嗣 (高崎健康福祉大学)、西川知亨 (関西大学)

- 第1章 社会学の視点
 - 第1節 社会学の意義と対象
 - 第2節 社会学の歴史
- 第2章 社会構造と変動
 - 第1節 社会システム
 - 第2節 組織と集団
 - 第3節 人口
 - 第4節 グローバリゼーション
 - 第5節 社会変動
 - 第6節 地域
 - 第7節 環境
- 第3章 市民社会と公共性
 - 第1節 社会的格差
 - 第2節 社会政策と社会問題
 - 第3節 差別と偏見
 - 第4節 災害と復興

- 第4章 生活と人生
 - 第1節 家族とジェンダー
 - 第2節 健康
 - 第3節 労働
 - 第4節 世代
- 第5章 自己と他者
 - 第1節 自己と他者
 - 第2節 社会化
 - 第3節 相互行為
- 終章 社会学と社会福祉学の連携・協働

④社会福祉の原理と政策

348頁 定価 本体2,900円(税別)

ISBN978-4-8058-8234-4

編集委員＝坪洋一(東京都立大学)、伊藤新一郎(北星学園大学)、武川正吾(明治学院大学) 序章 社会福祉の原理－その意味と展開

- 第1章 社会福祉の歴史
 - 第1節 社会福祉の歴史を学ぶ視点
 - 第2節 欧米の社会福祉の歴史的展開
 - 第3節 日本の社会福祉の歴史的展開
- 第2章 社会福祉の思想・哲学、理論
 - 第1節 社会福祉の思想・哲学
 - 第2節 社会福祉の理論
 - 第3節 社会福祉の論点
 - 第4節 社会福祉の対象とニーズ
- 第3章 社会問題と社会構造
 - 第1節 現代における社会問題
 - 第2節 社会問題の構造的背景
- 第4章 福祉政策の基本的な視点
 - 第1節 福祉政策とは何か
 - 第2節 福祉政策において重要な概念・理念
- 第5章 福祉政策におけるニーズと資源
 - 第1節 ニーズ(必要)
 - 第2節 資源(リソース)

- 第6章 福祉政策の構成要素と過程
 - 第1節 福祉政策の構成要素
 - 第2節 福祉政策の過程と評価
- 第7章 福祉政策の動向と課題
 - 第1節 福祉政策と包括的支援の現状
 - 第2節 福祉政策と包括的支援の課題
- 第8章 福祉政策と関連施策
 - 第1節 保健医療政策
 - 第2節 教育政策
 - 第3節 住宅政策
 - 第4節 労働政策
 - 第5節 災害政策
- 第9章 福祉サービスの供給と利用の過程
 - 第1節 福祉供給部門
 - 第2節 福祉供給過程
 - 第3節 福祉利用過程
- 第10章 福祉政策の国際比較
 - 第1節 国際比較の視点と方法
 - 第2節 福祉政策の動向：欧米
 - 第3節 福祉政策の動向：東アジア
 - 第4節 福祉政策の新しい潮流と国際比較の新しい課題
- 終章 これからの社会福祉－出発点・到達点・展望

⑤社会福祉調査の基礎

248頁 定価 本体2,500円(税別)

ISBN978-4-8058-8235-1

編集委員＝潮谷有二(日本社会事業大学)、志村健一(東洋大学)、竹本与志人(岡山県立大学)

- 第1章 社会福祉調査の意義と目的
 - 第1節 社会福祉調査の意義と目的
 - 第2節 福祉サービスと社会福祉調査
 - 第3節 社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係
 - 第4節 統計法
- 第2章 社会福祉調査における倫理と個人情報保護

- 第1節 社会福祉調査における倫理と個人情報保護
- 第3章 社会福祉調査のデザイン
 - 第1節 調査における考え方・論理
 - 第2節 社会福祉調査のプロセス
 - 第3節 社会福祉調査の目的と対象
 - 第4節 社会福祉調査でのデータ収集・分析
- 第4章 量的調査の方法
 - 第1節 量的調査の概要
 - 第2節 量的調査の種類と方法
 - 第3節 質問紙の作成方法と留意点
 - 第4節 質問紙の配布（配付）と回収
 - 第5節 量的調査の集計と分析
- 第5章 質的調査の方法
 - 第1節 質的調査の概要と方法
 - 第2節 質的調査のサンプリング
 - 第3節 質的調査のデータ収集法－観察法・面接法
 - 第4節 質的調査における記録の方法と留意点
 - 第5節 質的調査のデータの分析方法
- 第6章 ソーシャルワークにおける評価
 - 第1節 ソーシャルワークにおける評価の意義
 - 第2節 ソーシャルワークにおける評価対象
 - 第3節 ソーシャルワークにおける評価方法

⑥地域福祉と包括的支援体制

344頁 定価 本体2,900円（税別）

ISBN978-4-8058-8236-8

編集委員＝白澤政和（国際医療福祉大学大学院）、所めぐみ（関西大学）、藤井博志（関西学院大学）、松本すみ子（東京国際大学）、渡辺裕一（武蔵野大学）

- 第1章 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題
 - 第1節 地域社会の概念と理論
 - 第2節 地域社会の変化
 - 第3節 多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ
 - 第4節 地域福祉と社会的孤立
- 第2章 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制

- 第1節 地域包括ケアシステム
- 第2節 生活困窮者自立支援の考え方
- 第3節 包括的支援体制とは
- 第4節 地域共生社会の構築とは
- 第5節 地域共生社会の実現に向けた各種施策
- 第3章 地域福祉ガバナンスと多機関協働
 - 第1節 地域福祉ガバナンス
 - 第2節 多機関協働を促進する仕組み
 - 第3節 多職種連携
 - 第4節 福祉以外の分野との機関協働の実際
- 第4章 地域福祉の基本的な考え方
 - 第1節 地域福祉の概念と理論
 - 第2節 地域福祉の歴史
 - 第3節 地域福祉の動向
 - 第4節 地域福祉の推進主体
 - 第5節 地域福祉の主体と福祉教育
- 第5章 地域を基盤としたソーシャルワークの展開
 - 第1節 地域を基盤としたソーシャルワークの方法
 - 第2節 住民の主体形成に向けたアプローチ
 - 第3節 具体的な展開
- 第6章 災害時における総合的かつ包括的な支援体制
 - 第1節 非常時や災害時における法制度
 - 第2節 非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援
- 第7章 福祉計画の意義と種類、策定と運用
 - 第1節 福祉計画の定義、目的、機能と歴史的展開
 - 第2節 市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容
 - 第3節 福祉計画の策定過程と方法
 - 第4節 福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術
 - 第5節 福祉計画における評価
- 第8章 福祉行財政システム
 - 第1節 国の役割
 - 第2節 都道府県の役割
 - 第3節 市町村の役割
 - 第4節 国と地方の関係
 - 第5節 福祉行政の組織および専門職の役割
 - 第6節 福祉における財源

⑦社会保障

288頁 定価 本体2,900円(税別)

ISBN978-4-8058-8237-5

編集委員＝金子充(明治学院大学)、西村淳(神奈川県立保健福祉大学)、平岡公一(お茶の水女子大学)

第1章 現代社会と社会保障

第1節 人口動態の変化

第2節 経済環境の変化

第3節 労働環境の変化

第2章 社会保障の概念や対象およびその理念

第1節 社会保障の概念と範囲

第2節 社会保障の役割と意義

第3節 社会保障の理念

第4節 社会保障の対象

第5節 社会保障制度の展開

第3章 社会保障の財政

第1節 社会保障の財政

第2節 社会保障給付費・内訳・動向

第3節 国民負担率

第4節 社会保障と経済

第4章 社会保険・社会扶助・民間保険の関係

第1節 保険と扶助の考え方

第2節 社会保険と社会扶助の考え方

第3節 社会保険と民間保険の現状

第5章 社会保障制度の体系

第1節 医療保険制度の概要

第2節 介護保険制度の概要

第3節 年金制度の概要

第4節 労災保険制度と雇用保険制度の概要

第5節 生活保護制度の概要

第6節 社会手当制度の概要

第7節 社会福祉制度の概要

第6章 諸外国における社会保障制度

第1節 諸外国の社会保障

第2節 社会保障の国際比較

第3節 社会保障の国際化

⑧障害者福祉

264頁 定価 本体2,500円(税別)

ISBN978-4-8058-8238-2

編集委員 = 高木憲司(和洋女子大学)、松岡克尚(関西学院大学)、森田久美子(立正大学)

第1章 障害概念と特性

第1節 障害者の定義と特性

第2節 国際生活機能分類(ICF)と障害の社会モデル

第2章 障害者福祉の理念

第1節 障害観の変遷

第2節 障害者福祉の理念

第3章 障害者福祉の歴史

第1節 障害者処遇の変遷

第2節 障害者福祉制度と発展過程

第3節 障害者福祉制度と当事者運動

第4節 障害者権利条約と障害者基本法

第4章 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題

第1節 障害者の生活実態

第2節 障害者と家族

第3節 障害者を取り巻く社会環境と課題

第5章 障害者に対する法制度

第1節 法制度の全体像

第2節 身体障害者福祉法

第3節 知的障害者福祉法

第4節 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)

第5節 児童福祉法

第6節 発達障害者支援法

第7節 障害者総合支援法・児童福祉法

第8節 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)

第9節 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)

第10節 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリ

一法)

第11節 障害者の雇用の促進等に関する法律（障害者雇用促進法）

第12節 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律（障害者優先調達推進法）

第6章 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割

第1節 障害者と家族等の支援における関係機関の役割

第2節 関連する専門職の役割

第7章 障害者と家族等に対する支援の実際

第1節 障害領域におけるソーシャルワーカーの役割

第2節 障害者と家族等に対する支援の実際（多職種連携を含む）

⑨権利擁護を支える法制度

250頁 定価 本体2,500円（税別）

ISBN978-4-8058-8239-9

編集委員＝齋藤敏靖（東京国際大学）、高山直樹（東洋大学）、山本克司（修文大学）

第1章 ソーシャルワークと法のかかわり

第1節 権利擁護に必要な法制度

第2節 憲法

第3節 民法

第4節 行政法

第2章 法の基礎

第1節 法と規範

第2節 法の体系、種類、機能

第3節 法律の基礎知識、法の解釈

第4節 裁判制度・判例を学ぶ意義

第3章 権利擁護の意義と支える仕組み

第1節 権利擁護の意義

第2節 福祉サービスの適切な利用

第3節 苦情解決の仕組み

第4節 虐待・暴力防止関係法の概要

第5節 障害者差別解消法の概要

第4章 権利擁護活動と意思決定支援

第1節 意思決定支援とは

第2節 意思決定支援ガイドライン

- 第3節 インフォームド・コンセント—その法的概念と判例
- 第4節 秘密・プライバシー・個人情報
- 第5節 権利擁護活動と社会の安全
- 第5章 権利擁護にかかわる組織、団体、専門職
 - 第1節 権利擁護にかかわる組織、団体
 - 第2節 権利擁護にかかわる専門職
- 第6章 成年後見制度
 - 第1節 成年後見制度の概要
 - 第2節 後見の概要
 - 第3節 保佐の概要
 - 第4節 補助の概要
 - 第5節 任意後見の概要
 - 第6節 成年後見制度の最近の動向
 - 第7節 成年後見制度利用支援事業
 - 第8節 日常生活自立支援事業

⑩刑事司法と福祉

296頁 定価 本体 2,500円 (税別)

ISBN978-4-8058-8240-5

編集委員＝伊東秀幸（田園調布学園大学）、水藤昌彦（山口県立大学）、森久智江（立命館大学）、山崎康一郎（日本福祉大学）

- 第1章 「刑事司法と福祉」総論
 - 第1節 「刑事司法と福祉」を学ぶにあたって
 - 第2節 刑事司法とかわった人とのソーシャルワーク
- 第2章 社会と犯罪
 - 第1節 犯罪とは何か
 - 第2節 刑務所からみた日本の犯罪
- 第3章 犯罪原因論と対策
 - 第1節 犯罪原因論の展開
 - 第2節 犯罪原因論に基づく犯罪対応とその限界
- 第4章 刑罰とは何か
 - 第1節 刑罰制度の歴史
 - 第2節 刑罰の本質と機能
 - 第3節 刑罰の種類と適用の状況

- 第5章 刑事司法
 - 第1節 刑事手続の概要
 - 第2節 刑事手続と重要な原則
 - 第3節 犯罪の成立要件と責任能力判断
- 第6章 少年司法
 - 第1節 少年法は何のためにあるのか
 - 第2節 少年保護手続の流れ
 - 第3節 少年司法制度上の処分
- 第7章 施設内処遇① 成人
 - 第1節 日本の施設内処遇の歴史と制度
 - 第2節 矯正処遇の現状と課題
 - 第3節 地域生活に向けた支援のあり方
- 第8章 施設内処遇② 少年
 - 第1節 少年に対する施設内処遇の特徴
 - 第2節 少年に対する施設内処遇の実際
 - 第3節 少年院在院者への社会復帰支援のあり方
- 第9章 社会内処遇① 更生保護の理念と概要
 - 第1節 更生保護の意義と歴史
 - 第2節 更生保護制度の概要
 - 第3節 更生保護におけるソーシャルワーカーの役割
- 第10章 社会内処遇② 更生保護の実際
 - 第1節 更生保護の実際
 - 第2節 更生保護における関係機関のネットワーク構築
- 第11章 多様なニーズを有する犯罪行為者① 精神障害者を対象とした医療観察制度
 - 第1節 医療観察制度の概要
 - 第2節 社会復帰調整官の役割
 - 第3節 地域におけるソーシャルワーカーの役割
- 第12章 多様なニーズを有する犯罪行為者② 高齢者・障害者による犯罪・非行と福祉
 - 第1節 「司法と福祉の連携」の展開
 - 第2節 地域生活定着支援センターの役割と機能
 - 第3節 犯罪・非行に至った高齢者や障害者の理解
 - 第4節 犯罪・非行のあった高齢者・障害者への支援の実際と課題
- 第13章 多様なニーズを有する犯罪行為者③ アディクションを抱える人と刑事司法
 - 第1節 アディクションとは何か
 - 第2節 回復のために必要なものは何か
 - 第3節 刑事司法におけるアディクション

第14章 犯罪被害者等支援

第1節 犯罪被害者等支援に関する制度の概要

第2節 犯罪被害者等支援にあたっての考え方

第3節 犯罪被害者等支援の実際

第15章 コミュニティと刑事司法

第1節 刑事司法への市民参加

第2節 犯罪から学ぶ社会のあり方－Restorative Justice（修復的司法）

第3節 対話による問題解決

第4節 犯罪と私－「私」にできることは何か

⑪ソーシャルワークの基盤と専門職（共通・社会専門）

322頁 定価 本体2,900円（税別）

ISBN978-4-8058-8241-2

編集委員＝伊藤新一郎（北星学園大学）、空閑浩人（同志社大学）、田村綾子（聖学院大学）

第1章 ソーシャルワーク専門職である社会福祉士および精神保健福祉士の法的な位置づけ【共通】

第1節 ソーシャルワークの専門職である社会福祉士・精神保健福祉士

第2節 社会福祉士及び介護福祉士法

第3節 精神保健福祉士法

第4節 社会福祉士および精神保健福祉士の専門性

第5節 社会福祉士・精神保健福祉士に求められるコンピテンシー

第2章 ソーシャルワークの概念【共通】

第1節 ソーシャルワークの定義

第2節 ソーシャルワークの構成要素

第3章 ソーシャルワークの基盤となる考え方【共通】

第1節 ソーシャルワークの原理

第2節 ソーシャルワークの理念

第4章 ソーシャルワークの形成過程【共通】

第1節 ソーシャルワークの源流と基礎確立期

第2節 ソーシャルワークの発展期

第3節 ソーシャルワークの展開期と統合化

第4節 日本におけるソーシャルワークの形成過程

第5章 ソーシャルワークの倫理【共通】

第1節 専門職倫理の概念

- 第2節 倫理綱領
- 第3節 倫理的ジレンマ
- 第6章 ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲【社会専門】
 - 第1節 ソーシャルワーク専門職の概念と範囲
 - 第2節 社会福祉士の職域と役割
 - 第3節 多様な組織・機関・団体における専門職
 - 第4節 諸外国の動向
- 第7章 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク【社会専門】
 - 第1節 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象
 - 第2節 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開
- 第8章 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容【社会専門】
 - 第1節 総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点
 - 第2節 ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容
 - 第3節 多職種連携およびチームアプローチの意義と内容

⑫ソーシャルワークの理論と方法（共通科目）

376頁 定価 本体2,900円（税別）

ISBN978-4-8058-8242-9

編集委員＝岡田まり（立命館大学）、中谷陽明（桜美林大学）、中村和彦（北星学園大学）、
渡辺裕一（武蔵野大学）

- 第1章 人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク
 - 第1節 ソーシャルワーカーが学ぶ理論
 - 第2節 システム理論
 - 第3節 生態学理論
 - 第4節 バイオ・サイコ・ソーシャルモデル
 - 第5節 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク
 - 第6節 ソーシャルワークの目標と展開過程
- 第2章 ソーシャルワークの過程 －ケースの発見とエンゲージメント（インテーク）
 - 第1節 ケースの発見
 - 第2節 エンゲージメント（インテーク）
- 第3章 ソーシャルワークの過程 －アセスメント
 - 第1節 アセスメントの意義と目的
 - 第2節 アセスメントの方法
 - 第3節 アセスメントの留意点

- 第4章 ソーシャルワークの過程 – プランニング
 - 第1節 プランニングの意義と目的
 - 第2節 プランニングのプロセスと方法
 - 第3節 プランニングにおける留意点
- 第5章 ソーシャルワークの過程 – 支援の実施とモニタリング
 - 第1節 支援の実施
 - 第2節 モニタリング
 - 第3節 効果測定
- 第6章 ソーシャルワークの過程 – 支援の終結と結果評価、アフターケア
 - 第1節 支援の終結
 - 第2節 支援の結果評価
 - 第3節 アフターケア
- 第7章 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ
 - 第1節 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方
 - 第2節 ソーシャルワークのさまざまな実践モデルとアプローチ
- 第8章 ソーシャルワークの面接
 - 第1節 面接の意義と目的
 - 第2節 面接の方法と実際
- 第9章 ソーシャルワークの記録
 - 第1節 記録の意義と目的
 - 第2節 記録の内容
 - 第3節 記録のフォーマット
- 第10章 ケアマネジメント（ケースマネジメント）
 - 第1節 ケアマネジメント（ケースマネジメント）の原則
 - 第2節 ケアマネジメント（ケースマネジメント）の意義と方法
- 第11章 グループを活用した支援
 - 第1節 グループワークの意義と目的
 - 第2節 グループワークの展開過程
 - 第3節 グループワークとセルフヘルプグループ
- 第12章 コミュニティワーク
 - 第1節 コミュニティワークの意義と目的
 - 第2節 コミュニティワークの展開
 - 第3節 コミュニティワークの理論的系譜とモデル
- 第13章 ソーシャルアドミニストレーション
 - 第1節 ソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義
 - 第2節 組織介入・組織改善の実践モデル

- 第3節 組織運営における財源の確保
- 第14章 ソーシャルアクション
 - 第1節 ソーシャルアクションの概念とその意義
 - 第2節 コミュニティ・オーガナイズング
- 第15章 スーパービジョンとコンサルテーション
 - 第1節 スーパービジョンの意義、目的、方法
 - 第2節 コンサルテーションの意義、目的、方法

⑬ソーシャルワーク演習（共通科目）

224頁 定価 本体 2,500円（税別）

ISBN978-4-8058-8243-6

編集委員＝岡田まり（立命館大学）、添田正揮（日本福祉大学）、森田久美子（立正大学）、
渡辺裕一（武蔵野大学）

- 第1章 ソーシャルワーク演習の意義と目的
 - 第1節 ソーシャルワーク演習とは
 - 第2節 ソーシャルワーク演習を通して学ぶこと
- 第2章 人と環境の相互作用
 - 第1節 人と環境の相互作用
 - 第2節 自己理解と他者理解
- 第3章 ソーシャルワークの対象、機能と役割
 - 第1節 ソーシャルワークの対象
 - 第2節 ソーシャルワークの価値基準および倫理、理念
 - 第3節 ソーシャルワークの機能とソーシャルワーカーの役割
- 第4章 コミュニケーション技術と面接技術
 - 第1節 コミュニケーション技術
 - 第2節 面接技術
- 第5章 ソーシャルワークの展開過程と関連技法
 - 第1節 ケースの発見とエンゲージメント（インテーク）
 - 第2節 アセスメント
 - 第3節 プランニング
 - 第4節 支援の実施とモニタリング
 - 第5節 支援の終結と結果評価、アフターケア
- 第6章 ソーシャルワーク実習後の演習
 - 第1節 事例検討、事例研究

第2節 スーパービジョン

◆社会福祉士 専門科目

①福祉サービスの組織と経営

248頁 定価 本体 2,500円 (税別)

ISBN978-4-8058-8244-3

編集委員＝石川久展 (元・関西学院大学)、武居敏 (松溪会)、松原由美 (早稲田大学)

第1章 福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割

第1節 福祉サービスを提供する組織

第2節 福祉サービスの沿革と概況

第3節 組織間連携と促進

第2章 福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論

第1節 組織運営に関する基礎理論

第2節 集団の力学に関する基礎理論

第3節 リーダーシップに関する基礎理論

第3章 福祉サービス提供組織の経営と実際

第1節 経営体制

第2節 福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス

第3節 適切な福祉サービスの経営管理

第4節 情報管理

第5節 会計管理と財務管理

第4章 福祉人材のマネジメント

第1節 福祉人材マネジメント

第2節 福祉人材の育成

第3節 働きやすい労働環境の整備

②高齢者福祉

264頁 定価 本体 2,500円 (税別)

ISBN978-4-8058-8245-0

編集委員＝須加美明 (目白大学)、中谷陽明 (桜美林大学)、結城康博 (淑徳大学)、和気純

子（東京都立大学）

- 第1章 高齢者と少子高齢社会
 - 第1節 高齢者の定義と特性
 - 第2節 少子高齢社会の到来
- 第2章 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境
 - 第1節 高齢者の生活実態
 - 第2節 高齢者を取り巻く社会環境
- 第3章 高齢者福祉の歴史と理念
 - 第1節 高齢者観の変遷
 - 第2節 高齢者福祉の発展過程
 - 第3節 高齢者福祉の理念
- 第4章 介護保険制度
 - 第1節 介護保険制度の概要
 - 第2節 地域支援事業
 - 第3節 介護保険サービスの体系
- 第5章 高齢者に対する関連諸制度
 - 第1節 高齢者保健福祉の法体系
 - 第2節 老人福祉法
 - 第3節 高齢者医療確保法
 - 第4節 高齢者虐待防止法
 - 第5節 バリアフリー法
 - 第6節 高齢者住まい法
 - 第7節 高年齢者雇用安定法
 - 第8節 育児・介護休業法
 - 第9節 市町村独自の高齢者支援
- 第6章 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割
 - 第1節 関係機関の役割
 - 第2節 関連する専門職等の役割
- 第7章 高齢者と家族等に対する支援の実際
 - 第1節 高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割
 - 第2節 高齢者と家族等に対する支援の実際

③児童・家庭福祉

280頁 定価 本体2,500円（税別）

ISBN978-4-8058-8246-7

編集委員＝岩永靖（九州ルーテル学院大学）、澁谷昌史（関東学院大学）、宮島清（日本社会事業大学）

- 第1章 子ども家庭福祉とは何か
 - 第1節 子どもの権利
 - 第2節 子どもの生命と発達
 - 第3節 子どもと家庭・地域
 - 第4節 子ども家庭福祉とは
- 第2章 子ども家庭福祉の歴史
 - 第1節 慈善・恩恵から権利保障へ
 - 第2節 子どもの権利擁護の変遷
 - 第3節 子ども家庭福祉と現代社会
- 第3章 子ども家庭を取り巻く現代社会
 - 第1節 子ども家庭を取り巻く社会環境
 - 第2節 現代社会における課題と子育て・子育てへの影響
- 第4章 子ども家庭福祉の支援の基盤
 - 第1節 子ども家庭福祉の法体系
 - 第2節 子ども家庭福祉の実施体制
 - 第3節 子ども家庭福祉にかかわる関係機関・施設と利用方式
 - 第4節 子ども家庭福祉の財源と費用負担
 - 第5節 子ども家庭福祉の人材と専門職
 - 第6節 子ども家庭福祉の計画的推進
- 第5章 子どもの福祉課題と支援
 - 第1節 子ども・子育て支援
 - 第2節 母子保健
 - 第3節 保育
 - 第4節 要保護児童等と在宅支援
 - 第5節 児童虐待にかかわる支援
 - 第6節 社会的養護
 - 第7節 ひとり親家庭への支援
 - 第8節 ドメスティック・バイオレンスと女性支援
 - 第9節 スクールソーシャルワーク
 - 第10節 少年非行
 - 第11節 若者支援
 - 第12節 障害のある子どもへの支援

- 第13節 ソーシャルアクション
- 第6章 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践
 - 序説 子ども家庭福祉におけるソーシャルワーク
 - 第1節 子ども家庭福祉の支援の端緒と調査
 - 第2節 子ども家庭福祉におけるアセスメント
 - 第3節 子ども家庭福祉における支援の展開過程と連携
 - 第4節 子ども・子育て支援にかかわる実践
 - 第5節 母子保健や医療との協働による実践
 - 第6節 保育における実践
 - 第7節 児童虐待にかかわる実践 その1
 - 第8節 児童虐待にかかわる実践 その2
 - 第9節 社会的養護にかかわる実践
 - 第10節 ひとり親家庭への支援にかかわる実践
 - 第11節 女性福祉にかかわる実践
 - 第12節 教育との協働にかかわる実践
 - 第13節 若者の自立支援にかかわる実践
 - 第14節 障害児にかかわる実践
 - 第15節 当事者参画とアドボカシーにかかわる実践

④貧困に対する支援

264頁 定価 本体2,500円(税別)

ISBN978-4-8058-8247-4

編集委員＝岡部卓(明治大学)、新保美香(明治学院大学)、行實志都子(神奈川県立保健福祉大学)、六波羅詩朗(目白大学)

- 第1章 公的扶助の概念
 - 第1節 公的扶助の概念と範囲
 - 第2節 公的扶助の意義と役割
- 第2章 貧困の概念と貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境
 - 第1節 貧困の概念
 - 第2節 貧困状態にある人の生活実態
 - 第3節 貧困状態にある人を取り巻く社会環境
- 第3章 貧困の歴史
 - 第1節 貧困状態にある人に対する福祉の理念
 - 第2節 貧困観の変遷

- 第3節 貧困に対する制度の発展過程
- 第4章 生活保護制度
 - 第1節 生活保護制度
 - 第2節 保護の動向
- 第5章 低所得者に対する法制度
 - 第1節 生活困窮者自立支援制度
 - 第2節 生活福祉資金貸付制度
 - 第3節 低所得者対策
 - 第4節 ホームレス対策
- 第6章 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割
 - 第1節 貧困に対する支援における公私の役割関係
 - 第2節 国、都道府県、市町村の役割
 - 第3節 福祉事務所の役割
 - 第4節 自立相談支援機関の役割
 - 第5節 その他の貧困に対する支援における関係機関の役割
 - 第6節 関連する専門職等の役割
- 第7章 貧困に対する支援の実際
 - 第1節 貧困に対する支援における社会福祉士の役割
 - 第2節 支援に必要とされる視点と基本姿勢
 - 第3節 貧困に対する支援の実際

⑤保健医療と福祉

240頁 定価 本体 2,500円 (税別)

ISBN978-4-8058-8248-1

編集委員＝梅崎薫 (埼玉県立大学)、高山恵理子 (上智大学)、保正友子 (日本福祉大学)

- 第1章 保健医療の課題をもつ人の理解
 - 第1節 病者の理解
 - 第2節 家族の理解
 - 第3節 患者の権利
- 第2章 医療倫理
 - 第1節 医療倫理と倫理的課題
 - 第2節 患者の意思決定をめぐる課題
- 第3章 保健医療の動向
 - 第1節 疾病構造の変化

- 第2節 入院医療から在宅医療/病院完結型医療から地域完結型医療へ
- 第3節 保健医療における福祉的課題
- 第4章 保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識
 - 第1節 保健医療の政策・制度
 - 第2節 保健医療サービスの提供体制
 - 第3節 医療費の保障
 - 第4節 その他の政策・制度
- 第5章 保健医療領域における専門職の役割と連携
 - 第1節 保健医療領域における専門職と院内連携
 - 第2節 地域の関係機関との連携の実際
 - 第3節 医療機関におけるソーシャルワーカーが所属する部門の構築
- 第6章 保健医療領域における支援の実際
 - 第1節 保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割
 - 第2節 保健医療領域における支援の実際

⑥ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）

336頁 定価 本体 2,900円（税別）

ISBN978-4-8058-8249-8

編集委員＝添田正揮、（日本福祉大学）、所めぐみ（関西大学）、福富昌城（花園大学）

- 第1章 総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際
 - 第1節 総合的かつ包括的な支援の考え方
 - 第2節 家族支援の実際
 - 第3節 地域支援の実際
 - 第4節 非常時や災害時支援の実際
- 第2章 ソーシャルワークにおける援助関係の形成
 - 第1節 援助関係形成の意義と概念
 - 第2節 援助関係の形成方法と留意点
- 第3章 ネットワークの形成
 - 第1節 ネットワーキング
 - 第2節 コーディネーション
- 第4章 ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発
 - 第1節 社会資源の活用・調整
 - 第2節 ソーシャルワーク実践と社会資源
 - 第3節 社会資源開発のさまざまな方法
- 第5章 カンファレンス

- 第1節 会議の種類と方法
- 第2節 ミクロ・メゾ・マクロの会議
- 第6章 事例分析、事例検討、事例研究
 - 第1節 事例分析
 - 第2節 事例検討
 - 第3節 事例研究
- 第7章 ソーシャルワークに関連する技法
 - 第1節 ネゴシエーション
 - 第2節 コンフリクト・レゾリューション
 - 第3節 ファシリテーション
 - 第4節 プレゼンテーション
 - 第5節 ソーシャル・マーケティング

⑦ソーシャルワーク演習（社会専門）

336頁 定価 本体2,900円（税別）

ISBN978-4-8058-8250-4

編集委員＝鶴浦直子（大阪市立大学）、所めぐみ（関西大学）、野村裕美（同志社大学）、渡辺晴子（広島国際大学）

- 第1章 ソーシャルワーク演習の意義と目的
 - 第1節 社会福祉士養成における演習の意義と目的
 - 第2節 ソーシャルワーク演習[社会専門]の目標
 - 第3節 ソーシャルワーク演習[社会専門]の内容－本書の事例演習の特徴
- 第2章 ソーシャルワークの展開過程と社会福祉士のアクション（活動）
 - 第1節 演習のねらいと事例の基本情報
 - 第2節 ケースの発見とエンゲージメント（インテーク）
 - 第3節 アセスメント
 - 第4節 プランニング
 - 第5節 支援の実施とモニタリング
 - 第6節 支援の終結と結果評価 アフターケア
 - 第7節 ソーシャルワークの展開過程とコンピテンシー
- 第3章 実践的にソーシャルワークを学ぶ
 - 第1節 地域における社会的孤立への気づきと生み出す支援のあり方を考える
 - 第2節 服役を繰り返す福祉ニーズのあるクライアントへの多機関・多職種による支援を考える

- 第3節 メンタルヘルス課題と社会福祉士の役割・機能を考える
- 第4節 子どもや親のSOSに気づき、家族全体のレジリエンスを高めることを考える
- 第5節 クライアントが一番気になっている問題から支援を考える
- 第6節 災害支援からソーシャルワーカーの基本的姿勢と役割を考える
- 第7節 地域のニーズに対応した新たなサービス・事業開発を考える

⑧ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（社会専門）

344頁 定価 本体2,900円（税別）

ISBN978-4-8058-8251-1

編集委員＝伊藤新一郎（北星学園大学）、添田正揮（日本福祉大学）、渡辺裕一（武蔵野大学）

序章 講義－演習－実習の循環

第1章 ソーシャルワーク実習の目的と構造

- 第1節 実習および実習指導の意義と目的
- 第2節 実習におけるスーパービジョン
- 第3節 実習における教育評価
- 第4節 実習の構造
- 第5節 実習におけるリスクマネジメント

第2章 実習先決定に向けた準備

- 第1節 情報収集の方法
- 第2節 実習記録の書き方
- 第3節 ソーシャルワーク実習の分野と施設・機関の理解

第3章 実習先決定後の準備

- 第1節 実習先決定後の学習の内容と方法
- 第2節 実習計画の作成
- 第3節 事前訪問／事前打ち合わせ

第4章 実習中の学習

- 第1節 実習スーパービジョン
- 第2節 実習中の評価
- 第3節 実習中に直面する悩み
- 第4節 実習中に起こり得る問題

第5章 実習後の学習

- 第1節 実習後に行う評価

- 第2節 事後学習の目的と方法
- 第3節 実習成果の報告
- 第6章 実習の実際
 - 第1節 利用者やその関係者への権利擁護活動とその評価
 - 第2節 利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成
 - 第3節 利用者やその関係者との援助関係の形成
 - 第4節 利用者や地域の状況の理解と、生活上の課題の把握、支援計画の作成と実践および評価
 - 第5節 多職種連携およびチームアプローチ
 - 第6節 実習施設・機関が地域社会のなかで果たす役割の理解および具体的な地域社会への働きかけ
 - 第7節 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成
 - 第8節 地域における社会資源の活用・調整・開発
 - 第9節 実習施設・機関等の経営やサービスの管理運営の実際
 - 第10節 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任
 - 第11節 ソーシャルワーク実践に求められる技術

◆精神保健福祉士 専門科目

①精神医学と精神医療

354頁 定価 本体 3,000円 (税別)

ISBN978-4-8058-8252-8

編集委員＝伊東秀幸 (田園調布学園大学)、竹島正 (川崎市精神保健福祉センター)、藤井千代 (国立精神・神経医療研究センター)、三澤孝夫 (駒澤大学)

第1章 精神疾患総論

- 第1節 精神医学・医療の歴史
- 第2節 精神現象の生物学的基礎
- 第3節 精神障害の概念
- 第4節 精神疾患の成因と分類
- 第5節 診断、検査

第2章 代表的な精神疾患

- 第1節 器質性精神障害[F0]
- 第2節 精神作用物質使用による精神および行動の障害[F1]

- 第3節 統合失調症[F2]
- 第4節 気分(感情)障害[F3]
- 第5節 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害[F4]
- 第6節 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群[F5]
- 第7節 パーソナリティ障害と行動の障害[F6]
- 第8節 精神遅滞(知的障害)[F7]
- 第9節 心理的発達の障害[F8]
- 第10節 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害[F9]
- 第3章 精神疾患の治療
 - 第1節 精神疾患治療総論
 - 第2節 精神科薬物治療
 - 第3節 精神療法
 - 第4節 脳刺激法などの身体療法
 - 第5節 精神科リハビリテーション
- 第4章 精神科医療機関における治療の実際
 - 第1節 外来治療、在宅医療
 - 第2節 入院治療
 - 第3節 医療観察法における入院・通院治療
 - 第4節 精神科医療機関における精神保健福祉士の役割
 - 第5節 精神保健福祉士と協働する職種
- 第5章 精神医療と保健、福祉の連携
 - 第1節 治療導入に向けた支援
 - 第2節 再発予防や地域生活に向けた支援
- 第6章 精神医療の動向
 - 第1節 精神疾患患者の動向
 - 第2節 医療制度改革と精神医療
 - 第3節 医療機関の医療機能の明確化

②現代の精神保健の課題と支援

324頁 定価 本体 3,000円(税別)

ISBN978-4-8058-8253-5

編集委員＝植田俊幸(鳥取県立厚生病院)、松本すみ子(東京国際大学)、四方田清(順天堂大学)

第1章 精神保健の概要

- 第1節 精神保健とは
- 第2節 ライフサイクルと精神保健
- 第3節 生活習慣と精神の健康
- 第2章 現代の精神保健分野の動向と基本的考え方
 - 第1節 精神保健の動向
 - 第2節 精神保健活動の三つの対象
 - 第3節 精神の健康に関する心的態度
 - 第4節 生活と嗜癖
- 第3章 家族に関連する精神保健の課題と支援
 - 第1節 家族関係における暴力と精神保健
 - 第2節 出産・育児をめぐる精神保健
 - 第3節 介護をめぐる精神保健
 - 第4節 社会的ひきこもりをめぐる精神保健
 - 第5節 家族関係の課題
 - 第6節 グリーフケア
 - 第7節 精神保健支援を担う機関
- 第4章 精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ
 - 第1節 学校教育における精神保健的課題
 - 第2節 教員の精神保健
 - 第3節 関与する専門職と関係法規
 - 第4節 スクールソーシャルワーカーの役割
 - 第5節 学校精神保健にかかわる社会資源
- 第5章 精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ
 - 第1節 現代日本の労働環境
 - 第2節 産業精神保健とその対策
 - 第3節 職場のメンタルヘルスのための相談
 - 第4節 職場内の問題を解決するための機関および関係法規
- 第6章 精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ
 - 第1節 災害被災者の精神保健
 - 第2節 犯罪被害者等の支援
 - 第3節 自殺予防
 - 第4節 身体疾患に伴う精神保健
 - 第5節 貧困問題と精神保健
 - 第6節 社会的孤立
 - 第7節 性的マイノリティと精神保健
 - 第8節 多文化に接することで生じる精神保健上の問題

- 第9節 反復違法行為と精神保健
- 第10節 高齢化と精神保健
- 第7章 精神保健に関する発生予防と対策
 - 第1節 精神保健における予防の考え方
 - 第2節 アルコール関連問題に対する対策
 - 第3節 薬物依存対策
 - 第4節 ギャンブル等依存対策
 - 第5節 うつ病と自殺防止対策
 - 第6節 子育て支援と暴力、虐待予防
 - 第7節 認知症高齢者に対する対策
 - 第8節 発達障害者に対する対策
 - 第9節 社会的ひきこもりに対する対策
 - 第10節 災害時の精神保健に対する対策
- 第8章 地域精神保健に関する偏見・差別等の課題
 - 第1節 関連法規
 - 第2節 精神保健にかかわる人材育成
 - 第3節 精神保健における偏見・差別
- 第9章 精神保健に関する専門職種と国、都道府県、市町村、団体等の役割および連携
 - 第1節 国の機関とその役割
 - 第2節 精神保健に係る法規
 - 第3節 多職種の役割と連携
 - 第4節 地域精神保健にかかわる行政機関の役割および連携
 - 第5節 学会や啓発団体
 - 第6節 セルフヘルプグループと地域精神保健を課題とした市民団体
- 第10章 諸外国の精神保健活動の現状および対策
 - 第1節 世界の精神保健の実情
 - 第2節 WHOなどの国際機関の活動
 - 第3節 諸外国の精神保健医療の実情

③精神障害リハビリテーション論

248頁 定価 本体2,700円(税別)

ISBN978-4-8058-8254-2

編集委員＝岩崎香(早稲田大学)、阪田憲二郎(神戸学院大学)、長崎和則(川崎医療福祉大学)

- 第1章 精神障害リハビリテーションとソーシャルワーク
 - 第1節 精神障害リハビリテーションとソーシャルワークの関係
 - 第2節 精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割
- 第2章 精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則
 - 第1節 精神障害リハビリテーションの理念と定義
 - 第2節 医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーション
 - 第3節 精神障害リハビリテーションの基本原則
 - 第4節 地域およびリカバリー概念を基盤としたリハビリテーションの意義
- 第3章 精神障害リハビリテーションの構成および展開
 - 第1節 精神障害リハビリテーションの対象
 - 第2節 チームアプローチ
 - 第3節 精神障害リハビリテーションのプロセス
- 第4章 精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関
 - 第1節 医学的リハビリテーションプログラム
 - 第2節 職業的リハビリテーションプログラム
 - 第3節 社会的リハビリテーションプログラム
 - 第4節 教育的リハビリテーションプログラム
 - 第5節 家族支援プログラム
 - 第6節 リハビリテーションに用いられるその他の手法・プログラム
- 第5章 精神障害リハビリテーションの動向と実際
 - 第1節 精神障害当事者や家族を主体としたリハビリテーション
 - 第2節 依存症のリハビリテーション

④精神保健福祉制度論

256頁 定価 本体2,700円(税別)

ISBN978-4-8058-8255-9

編集委員＝青木聖久(日本福祉大学)、大岡由佳(武庫川女子大学)、大塚淳子(帝京平成大学)

- 第1章 精神障害者に関する制度・施策の理解
 - 第1節 精神障害者に関する制度・施策の体系
 - 第2節 精神障害者に関する制度の成立過程とその特徴
 - 第3節 精神障害者に関する制度活用の流れ―事例から
- 第2章 精神障害者の医療に関する制度
 - 第1節 精神保健福祉法の概要と精神保健福祉士の役割

- 第2節 精神科医療がかかわりをもつ施策
- 第3節 医療観察法の概要と精神保健福祉士の役割
- 第4節 精神障害者の医療と関連する施策
- 第3章 精神障害者の生活支援に関する制度
 - 第1節 生活支援の基本的な考え方
 - 第2節 相談支援制度
 - 第3節 居住支援制度
 - 第4節 就労支援制度
- 第4章 精神障害者の経済的支援
 - 第1節 精神障害者の暮らしに果たす経済的支援の意義と役割
 - 第2節 所得保障にかかわる経済的支援
 - 第3節 経済的負担の軽減
- 第5章 精神障害者と生活困窮
 - 第1節 生活困窮と生活保護制度
 - 第2節 生活困窮者自立支援制度
 - 第3節 低所得者対策

⑤精神保健福祉の原理

336頁 定価 本体 3,000円 (税別)

ISBN978-4-8058-8256-6

編集委員＝岩崎晋也（法政大学）、金子努（県立広島大学）、田村綾子（聖学院大学）、中村和彦（北星学園大学）

- 序章 精神保健福祉の原理とは何かー本科目の学びのポイント
- 第1章 障害者福祉の理念と歴史的展開
 - 第1節 障害の捉え方と障害者福祉の理念
 - 第2節 精神障害者福祉の歴史的展開
- 第2章 精神障害と精神障害者の概念
 - 第1節 制度における「精神障害者」の定義
 - 第2節 国際生活機能分類（ICF）と精神障害
 - 第3節 精神障害の「障害特性」
 - 第4節 精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流
- 第3章 精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造
 - 第1節 諸外国における排除の歴史とその後の展開
 - 第2節 日本における排除の歴史と構造

- 第3節 日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取り組み
- 第4章 精神障害者の生活特性
 - 第1節 精神科医療による生活への影響
 - 第2節 精神障害者の家族が置かれている状況
 - 第3節 精神障害者の社会生活の実際
 - 第4節 メンタルヘルスをめぐる新たな課題
- 第5章 精神保健福祉の原理と理念
 - 第1節 精神保健福祉の原理が培われた足跡・過程
 - 第2節 精神保健福祉士による実践の価値・原理
 - 第3節 精神保健福祉士による実践の視野や視点
 - 第4節 援助における関係性
- 第6章 「精神保健福祉士」の役割と機能
 - 第1節 精神保健福祉士法の理解
 - 第2節 精神保健福祉士の職業倫理
 - 第3節 精神保健福祉士の業務特性と業務指針
 - 第4節 精神保健福祉士の職場・職域
 - 第5節 精神保健福祉士の業務内容とその特性

⑥ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）

338頁 定価 本体 3,000円（税別）

ISBN978-4-8058-8257-3

編集委員＝岩崎香（早稲田大学）、鈴木孝典（高知県立大学）、松本すみ子（東京国際大学）

- 第1章 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要
 - 第1節 ソーシャルワークの構成要素
 - 第2節 ソーシャルワークの展開過程
 - 第3節 精神保健福祉分野のソーシャルワークの基本視点
 - 第4節 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開
- 第2章 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法
 - 第1節 援助関係の形成技法
 - 第2節 インテーク
 - 第3節 アセスメント
 - 第4節 面接技術とその応用
 - 第5節 グループワーク（集団援助技術）
 - 第6節 アウトリーチ

- 第7節 支援の展開（人・環境へのアプローチ）事例分析
- 第8節 支援の展開（ケアマネジメント）
- 第3章 精神保健福祉分野における家族支援の実際
 - 第1節 精神障害者家族の課題
 - 第2節 家族理解の変遷
 - 第3節 家族支援の方法
- 第4章 コミュニティワーク
 - 第1節 精神保健福祉分野におけるコミュニティワークの意義
 - 第2節 地域における精神保健福祉の向上
- 第5章 ソーシャルアクションへの展開
 - 第1節 ソーシャルアクションの基本的視点
 - 第2節 個別支援から地域における体制整備
 - 第3節 政策提言・政策展開
 - 第4節 精神障害者の地域移行・地域定着に関わる展開（事例分析）
- 第6章 多職種連携・多機関連携（チームアプローチ）
 - 第1節 連携の意義と目的
 - 第2節 多職種連携・多機関連携の留意点
 - 第3節 チームビルディング
 - 第4節 チームの形態と特徴
 - 第5節 連携における精神保健福祉士の役割
 - 第6節 多職種連携・多機関連携（チームアプローチ）の実際（事例分析）
- 第7章 ソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義
 - 第1節 精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義
 - 第2節 精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーションの展開方法
 - 第3節 人材確保と人材育成
- 第8章 関連分野における精神保健福祉士の実践展開
 - 第1節 学校・教育分野
 - 第2節 産業分野
 - 第3節 司法分野
 - 第4節 災害分野

⑦ソーシャルワーク演習（精神専門）

340頁 定価 本体3,000円（税別）

ISBN978-4-8058-8258-0

編集委員＝岩崎香（早稲田大学）、栄セツコ（桃山学院大学）、田村綾子（聖学院大学）

第1章 精神保健福祉士の演習の意義と目的

第1節 精神保健福祉士になるための演習の意義と目的

第2節 精神保健福祉士の演習の内容

第3節 精神保健福祉士の実践における原理・原則

第2章 ソーシャルワークの課題を通じた演習

第1節 個人に対する相談援助の理解

第2節 グループにおける相談援助の理解

第3節 コミュニティソーシャルワークの理解

第3章 支援の場に応じた相談援助の理解

【精神科医療機関】

【障害福祉サービス事業所】

【社会福祉協議会】

【高齢者福祉施設】

【行政機関】

【教育機関】

【司法】

【産業・労働】

第4章 ソーシャルワーク実践のための力の獲得

第1節 CSWEのコンピテンシー

第2節 「精神保健福祉士のキャリアラダー」に基づく実践力の獲得

⑧ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（精神専門）

300頁 定価 本体3,000円（税別）

ISBN978-4-8058-8259-7

編集委員＝中村和彦（北星学園大学）、中村卓治（広島文教大学）、松本すみ子（東京国際大学）

序章 講義－演習－実習の循環

第1章 ソーシャルワーク実習の目的と構造

第1節 実習および実習指導の意義と目的

第2節 実習におけるスーパービジョン

第3節 実習における教育評価

- 第4節 実習の構造
- 第5節 実習におけるリスクマネジメント
- 第2章 実習先決定に向けた準備
 - 第1節 情報収集の方法
 - 第2節 実習記録の書き方
 - 第3節 精神保健医療福祉の現状と精神保健福祉士の役割
 - 第4節 精神保健福祉士実習の施設・機関の理解
- 第3章 実習先決定後の準備
 - 第1節 実習先決定後の学習の内容と方法
 - 第2節 実習計画の作成
 - 第3節 事前訪問/事前打ち合わせ
- 第4章 実習中の学習
 - 第1節 実習スーパービジョン
 - 第2節 実習中の評価
 - 第3節 実習中に直面する悩み
 - 第4節 実習中に起こり得る問題
- 第5章 実習後の学習
 - 第1節 実習後に行う評価
 - 第2節 事後学習の目的と方法
 - 第3節 実習成果の報告
- 第6章 実習の実際
 - 第1節 実習先で必要とされる精神保健福祉士としての専門的知識と技術
 - 第2節 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務
 - 第3節 精神科医療機関における実習
 - 第4節 障害福祉サービス事業所における実習
 - 第5節 行政機関における実習